



くすいなたん

長月号
Vol.51
2008年9月

飲食店向け情報満載かわら版
毎月発行

毎月10日発行
発行人 藤本高司
発行所 フジモト株式会社



爽秋の候 飲食店舗さま向けにかわら版を毎月発行します

かわら版を発行して51号目を迎えられました。月刊号ですので丸4年と3ヶ月。飲食店で働いていらっしゃる皆様へ息抜きと豆知識をお届けできればと思いをとっています。『くすいなたん』は沖縄の言葉で、お食事を頂いたあとに「ご馳走様でした」「お薬になりました」というお礼の言葉です。難しいと思っていた商標登録も取得できてすっかり馴染んだタイトルになりました。発行したんだから1年は続けようねと筆者達と励ましあいがらでしたが、今ではネタ探しは日常にとけこんでいます。継続は力なり！まずは100号に向けて気持ちもあらたに情報発信させていただきます。これからもご愛読よろしくお願ひ致します。もう季節は秋。食欲の秋。お店を秋いろ一色でお客様をお迎えしましょう！忘新年会の新規お客様獲得には大事な時期です。積極的に名刺交換して下さいね！！

メガバースの夏/サマーラッシュ2008 開催報告

OFSC 仮想店舗分科会会長 湯澤一比古 <http://www.ofsc.jp/>

「セカンドライフ」は、ご存じですか。アンジェ・チャンと言う女性がビジネスウィーク誌2007年1月号の表紙を飾ったのですが、このアンジェ・チャンは実在の女性ではなく、セカンドライフという仮想世界(メガバース)の仮想の人格(アバター)だったのです。本物の人間以外が、ビジネスウィークの表紙になったのは、これ以前にはなかったことなので、大分話題になったそうです。

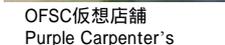


ビジネスウィーク誌

世界規模ではセカンドライフは随分盛り上がりつつありますし、国内でも多くの住人？が活動しています。セカンドライフという仮想の世界では、服や建物を自由に造ることが出来るので、クリエイターの人達には本当によい環境のようです。勿論、それらは、仮想の服、仮想の建物なのですが、実際の世界で作り上げる予備段階として、仮想の世界を利用してみると、色々な人に批評して貰えるし、共同作業(コラボレーション)もしやすいのです。それから、今回のお話しを中心とする、レストランクリエイターの方や、イベントクリエイターの方にとっても、セカンドライフは新しい活動の場所になって来ています。

つい先日、2008年8月22日から9月1日まで、セカンドライフ上で、SummerLush2008(サマーラッシュ2008)と銘打って、大きなイベントが開催されました。このイベントは12人のスタッフが有志として企画、外食企業のITのあり方を考える外食企業団体OFSCの協賛で運営されました。イベントの呼び掛けや、会場の作成期間も含めた8月一杯と言うことで集計すると、延べ訪問者数10,173名、訪れた人数は2,973名にのぼっていました。告知のために用意したホームページのアクセス数は、約2万ページビューになっていました。

最終日の31日、我々、OFSCの仮想店舗分科会のメンバーは、コンテストの選考員でもあったので、実況を見ながら一杯やるために、21時から池袋の東急ハンズ前の「千年の宴」の宴会室を借り切って集まりました。プロジェクターにセカンドライフのもようを映しながら、コンテストの審査。最後に、閉会の仮想花火を見ながらのビールは格別でした。コンテストの結果を少し掲載しておきましょう。



OFSC 仮想店舗 Purple Carpenter's

イベントの内容はざっと以下の通りでした。
・ミス制服着こなしコンテスト(外食系制服)
・フロアーレディ、ホスト選手権
・スクリーンショット(写真)コンテスト
・飲食店で仲間との楽しい写真
・クラブイベント
・宝探し
・ショッピングモール開設(日本人クリエイター)

8月31日
8月29日 30日
8月31日発表
8月31日発表
8月29日
8月22日 09月1日
8月22日 09月1日

各受賞作品、受賞者はこちらから！ <http://www.summer-lush.com/>

ミスユニフォームコンテスト2008 受賞作品より



グランプリ



Ms賞(スポンサー特別賞)



最優秀賞



プラチナエージェンシー賞

フォトコンテスト受賞作品より

沖縄支店開設！

9月1日オープン

8月31日、開所式並びに波上宮神主様による祭祀も滞りなく終え、今月1日、かねてから準備をすませておりました「フジモト株式会社 沖縄支店」がオープンいたしました。

フジモトは、ホスピタリティ企業としてのCSRとコンプライアンスを企業戦略としてとらえて、企業理念を全うし今まで以上にお客様への利益拡大を提供することを約束します！

また沖縄支店の従業員は県内の人財とし、地域の活性化、そして今まで以上にお客様にご満足いただけるよう、励んでまいります。

新オフィスは、泊港の目の前のビル、10階にかまえてあります。泊大橋や水平線、市街を一望できる最高のロケーションです。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。沖縄の美しい景色と、沖縄のみなさんの明るい笑顔に、日頃のストレスも吹き飛ばしてしまうこと間違いなしです。

オフィスからの夕日です。



支店長には「島袋秀光」が就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします！

フジモト株式会社 沖縄支店
住所：沖縄県那覇市泊2-15-9
泊スクエアビル10F
電話：098-860-6953
FAX：098-860-9654



食器なんでも豆知識

食器研究家 ケイ・大勝

二十豆 地球にもおいしいお弁当 ~ バランのご紹介 ~

暑さも和らいできた今日この頃。これから行楽にも気軽に足を運べる季節となつてまいりました。

今回はお弁当につきものである、バランのお話です。バランとは、お寿司やお弁当に使われている、緑色のギザギザの形をした仕切りのご道具です。

最近ではビニール製が主流ですが、もとは、葉蘭(馬蘭)というユリ科の植物を使用していました。葉蘭は、香りが良く、色も鮮やかなので、今でも高級なお寿司屋さんでは本物を使用されているところもあります。

バランは、料理の彩りを華やかにすることで、お料理のかざりの役目や、隣り合う食材の匂いをつけない理由から、防臭効果の役目があります。

ビニール製のバランは手に入りやすいことから、気軽に使用されていますが、手の込んだお料理の時には少々味気ないですし、なによりゴミになってしまうので、環境問題の観点からもあまりおすすめできません。

最近では、食べられるバランや、何度でも洗って使用できるバランなど、環境問題にも配慮されたものも取り扱われるようになりました。

食べられるバランなどは、ゴミが減るのでアウトドアのお弁当に使用するのはいかがでしょうか。

また、何度でも洗って使用できるバランは、毎日のお弁当に使用すると費用の面でも経済的で良いですね。地球と一緒においしいお弁当を「いただきます！」

写真撮影：青木繁伸(群馬県前橋市)
<http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/>



Fujimoto

発行所 フジモト株式会社 <http://www.fujimoto.co.jp>
〒166-0011 東京都杉並区梅里1-7-7SKTビル2F TEL03-5378-6830 FAX03-5378-6823